



TEAM NEXT YONEZAWA

「敬師の里」が育む 関根っ子魂

第9代米沢藩主上杉鷹山公は、優れた人材を育成するため、恩師である儒学者細井平洲を、江戸から米沢に招きました。平洲先生が米沢に到着した際には自ら郊外の羽黒神社まで赴き、丁重に歓迎したという記録が残っています。謙虚さを忘れず師を敬う、鷹山公の実直な人柄が現れた逸話です。

今回紹介する関根小学校は、鷹山公と平洲先生の再会の場所となったことから「敬師の里」と呼ばれている、山上地区にあります。この学校では、地域住民と学校が協働することで、子どもたちの「敬師の心」を育むことを重視しています。

「米作り体験や紅花栽培、敬師太鼓などの活動では、地域住民に先生になっていただいています。地域の伝統を学び、地域の人たちや友達と関わり合うことで、先人への敬意や山上地区を誇りに思う気持ちを感じてもらいたいですね」と語るのは、校長の太田和広先生。おおた かずひろ「全校児童30人という小さな学校なので、縦のつながりが強く、皆仲良く信頼関係で結ばれています。上級生が下級生を思いやり、下級生もそんな上級生を模範として頑張っている姿を見ると、敬師の心の教えが子どもたちの中にしっかり根付いていることを感じて嬉しくなります」と笑顔で語りました。

来年度からは松川小学校と統合し、新たなスタートを切ることになる関根小学校。太田先生は「歴史と伝統ある関根小学校を皆さんの記憶に残していきたいです。関根小学校で学んできたことを忘れずに、自分の人生を切り開いてほしい」と、願いを語ると同時に、関根っ子たちにエールを送りました。

「敬師の心」を受け継ぐ

米沢市立関根小学校（関根）

明治8年創立。「敬師の里」山上地区に伝わる伝統を、地域行事などを通して子どもたちに継承してきた。令和3年4月からは松川小学校と統合し、新たな仲間たちと共に敬師の心をつないでいく。



太田和広校長先生にお聞きしました。

「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、産品だけではなくサービス・観光・文化・行政など、様々な領域の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。（9月14日現在、170の企業・団体・個人が登録）

